

# 住居表示実施のプロセスは適切か？

企画総務委員会所管事務調査②



壱分北地区の宅地開発に伴い、現在の「壱分町」に代わる新たな住居表示を実施するとして、開発事業者から周辺自治会に対して、新たな町名と町界の案への同意署名の求めがありました。住居表示を実施することで住所がわかりやすくなりますが、その町名や町界の設定にあたっては民主的なプロセスを経ることが大切です。企画総務委員会で、その手続きのありかたについて質問しました。

## 多様な要素を考慮して決定を

生駒市は、開発事業者に対し、住居表示の実施基準に基づき、地元の同意を得て、住居表示実施の申請をするよう求めていたとのことで、それに従い、事業者は同意署名を求めてきたものと思われます。

しかし、住居表示は、地形や、その地域の歴史的背景、住民の地域への愛着、通学区や生活利便性といったさまざまな要素を考慮して、住民の意見を丁寧に聞きながら決定すべきです。

## 実施主体は市

たとえば奈良市では、「住居表示で新しい街づくり」というパンフレットの中で、「住居表示を実施するにあたり、地元で説明会を開いたり、いろいろご意見を聞いたりして、『みなさんの声』を反映しながら町界、町名を決定していきます」と明記しています。

市は、住居表示の実施主体としての責任を自覚し、事業者任せにせず、素案作成の段階から住民が関われるようにすべきです。

# 市長、発言誤りを認める

企画総務委員会所管事務調査③



今年3月25日の月例記者会見で、議会が全部修正したハラスメント防止条例が可決したことについての所見を記者から求められた際、小紫市長が、「原案にあった議員がハラスメントを起こしたときの対応がなくなった」と誤った発言をしたことについて、企画総務委員会で市長に質しました。

## 受け取り手に問題？

市長は、担当課からレクを受けて議会の修正案の内容は理解していたが、記者会見時には勘違いした、と発言誤りを認めた上で謝罪しましたが、「誤解を与えかねない表現であった」と、まるで市長の発言を聞いた記者や記者会見録を見た市民の受け取り方に問題があるかのような謝罪でした。

また、塩見の委員会発言通告を見て、誤りを認識されたとのことですが、周囲に指摘する者は誰もいないのでしょうか。

## 会見記録を訂正

市長の誤った発言は、新聞記事にもなってしまったため、塩見は、次の記者会見できちんと訂正するように求め、そのとおりの6月の月例記者会見で訂正されました。

## 最大の問題は議会の対応

しかし、本件の一番の問題は、議会の修正案に問題があるかのような、議会の活券に関わる案件であるのに、修正案提出者も議長も市長に対して全く抗議しないことです。

## ■地番と住居表示

地番:土地に対しての番号。法務局が定める。



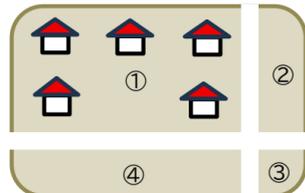
同じ地番に建物がなかったり、複数あったりすることもある。

▲▲町●●●番地



わかりにくい!

住居表示:建物に対しての番号。住居表示法に基づき、市町村が定める。



▲▲町●番■号



## サロン ド しおみ 茶論・de・403

日時:8月3日(日) 13:30~16:00

参加費無料。途中入退室も可能です。

場所:南コミュニティセンターせせらぎ セミナー室 301

国政選挙にみる生駒市民の投票の動向は？  
国政選挙の結果は市議選にどう影響する？  
無所属は有利？不利？  
などなど選挙を語り合しましょう。

## 編集後記

●6月議会は、議案も少なかったうえ、賛否が割れるような議案もなく、委員会審査も穏やかでした。その代わりというわけではありませんが、所属する企画総務委員会で、6つのテーマで所管事務に関する質疑を行いました。残念ながら紙面が限られていて、ここではその半分しかご報告できません。ブログにしたためておりますので、補っていただければ幸いです。

塩見 牧子



# しおみ 塩見まきこ

市議会 newsletter 2025 年/夏号



秋になれば、この田んぼが黄金色に輝くことを祈って！ 撮影：山野マサ子 撮影場所：生駒市壱分町

## Contents

- Page2 今年度の市議会の体制が決まる / たった2会派で議会運営～約6割の議員が議会運営に関われず～
- Page3 「おひとりさま」でも安心して暮らせるまちに / 適切な下水道使用料のあり方は？ / 公益通報者の保護 市の見解示される
- Page4 住居表示実施のプロセスは適切か？ / 市長、発言誤りを認める / 茶論・de・403 / 編集後記

※各記事の見出しのQRコードからより詳しいブログ記事をお読みいただけます。

塩見牧子(しおみまきこ) 1965年3月8日大阪生まれ。1972年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て2007年4月、生駒市議会議員に初当選。①将来世代に元気なまちのバトンを渡す、②誰もが生きづらさを感じることなく暮らせる共生社会をつくる、③フェアで市民本位の市政運営を築くための取組みやしくみづくりの提案を活動公約としています。

塩見まきこのプロモーションビデオ(PV) 「“まっすぐ”が通る生駒に！」



blog



Facebook



X (旧 Twitter)



バックナンバー



ご意見はこちら